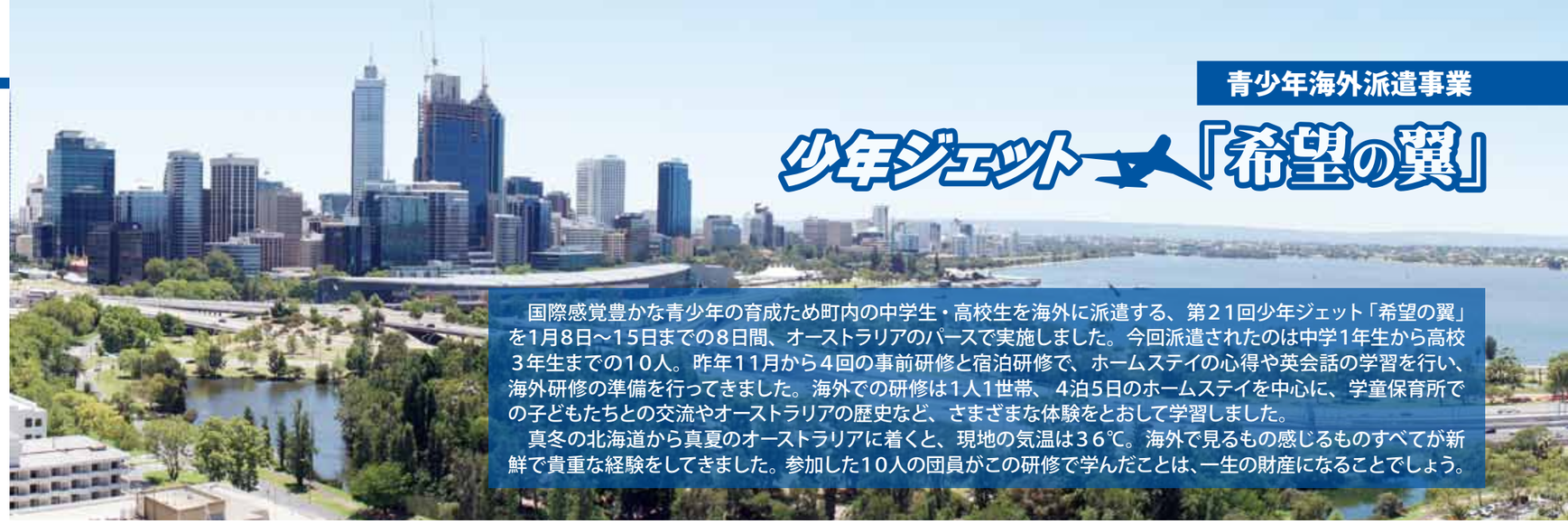


青少年海外派遣事業

少年ジェット「希望の翼」

国際感覚豊かな青少年の育成ため町内の中学生・高校生を海外に派遣する、第２１回少年ジェット「希望の翼」を1月8日～15日までの8日間、オーストラリアのパースで実施しました。今回派遣されたのは中学1年生から高校３年生までの10人。昨年11月から４回の事前研修と宿泊研修で、ホームステイの心得や英会話の学習を行い、海外研修の準備を行ってきました。海外での研修は1人1世帯、４泊5日のホームステイを中心に、学童保育所での子どもたちとの交流やオーストラリアの歴史など、さまざまな体験をとおして学習しました。

真冬の北海道から真夏のオーストラリアに着くと、現地の気温は３６℃。海外で見るもの感じるものすべてが新鮮で貴重な経験をしてきました。参加した10人の団員がこの研修で学んだことは、一生の財産になることでしょう。

岩見沢緑陵高校（３年）　工藤 恵里那

私はホームステイで現地の人たちと直接ふれあうことができました。オーストラリア人の心はとても広く美しく、そして豊かでした。人種も違う見ず知らずの私をいやな顔もせず歓迎してくれました。素晴らしい人たちと出会えて私は幸せ者でした。そしてこのような機会を与えてくれた全ての人に感謝したいです。

栗山高校（3年）　金谷 美咲

私は英語で会話することの難しさや、人との関わり合いの大切さなどたくさんのことを学びました。全てが私のこれからの人生に役立つことだと思います。そして、それをこれからの栗山町へも役立てるように、行動に移していきたいです。貴重な体験をさせていただき本当に感謝しています。

札幌光星高校（1年）　星野 玖怜華

今回の研修は初めての海外だったので見るものすべてが新鮮で驚きの連続でした。ホストファミリーはとても親切にしてくれて楽しく過ごすことができました。またホームステイを通して数え切れないほど、たくさんのことを経験でき本当に良かったです。オーストラリアで過ごした時間は最高の思い出になりました。

札幌日本大学高校（2年）　長谷川 美咲

初めての海外、ホームステイでとても不安でした。実際、ホストファミリーと会ってみるとフレンドリーで、私のために日本語の勉強してくれていました。夜は一緒に映画を観たり、家族のように迎えてくれて嬉しかったです。文化の違いや芸術を学び、貴重な経験をさせてもらいました。

岩見沢緑陵高校（３年）　柴田 侑子

私は海外研修に参加して私自身の価値観が変わったと思います。初めての海外で不安も多くとまどったこともありましたが、ホストファミリーはとても親切で、わかりやすい言葉やジェスチャーで教えてくれました。もっと英語を勉強して、またホームステイをしたいです。

栗山中学校（1年）　片岡 ゆう

私はオーストラリアに行っていろいろなことを経験させてもらいました。英語は得意とは言えませんがジェスチャーを使ったりして伝えようとすると、オーストラリアの方々は分かろうとして聞いてくれました。そしてホストファミリーは私に優しく接してくれました。今回経験したことを今後の生活に生かしていきます。

栗山中学校（2年）　油谷 文音

私はホームステイで多くのことを学びました。最初は英語が通じるか不安でしたが、ほとんどがジェスチャーか、単語を並べる会話で伝わりました。海外での生活は少し大変でしたが、楽しく過ごすことができた一週間でした。海外研修で学んだことをこれからも生かしていきたいです。

栗山中学校（2年）　大西 はるか

私はオーストラリアで日本との違いを感じることができました。パースは本当に自然が豊かで、オーストラリア人はすごくフレンドリーでした。また、日本人が繊細であるという良い部分を発見することができました。今回の貴重な経験を生かしてこれからの生活、そして将来に役立てていきたいです。

少年ジェット「希望の翼」報告会

第２１回少年ジェット「希望の翼」の帰町報告が１月２８日、町役場で行われました。オーストラリアの雄大で美しい自然やホームステイ先などでの感想、それらの経験を今後に生かすための抱負を述べると、椿原町長は「研修で得たことを学校生活に生かし、一緒に行った団員を一生の大切な仲間にしてください」と話しました。

継立中学校（１年）　佐藤 和奏

今回の研修では初めてのことがいっぱいで、自分がホームシックにならないかとても心配でした。でも、ホストファミリーはとても優しく、明るい人たちだったので楽しく過ごすことができました。自分の英語力を知ることもできたので良かったです。この研修で何も悔いなく過ごすことができて本当に良かったです。

栗山中学校（1年）　三浦 亜純

初めての海外研修でとても不安だったホームステイでしたが、子どもたちともすぐに仲良くなり、家族のように温かく接してくれました。英語はもちろんですが、普段の生活では気付けなかった大切なことをたくさん学ぶことができました。この経験を決して無駄にせず、もっと英語を勉強して、また必ず海外に行きたいです。

少年ジェット「希望の翼」研修内容

【1日目　1月8日(土)】
出発式（総合福祉センター「しゃるる」）
新千歳空港→羽田空港→成田国際空港
約10時間のフライトの後、パースへ

【2日目　1月9日(日)】
パース国際空港到着・パース市内視察
（モンガー湖・シティービーチ・フリーマントル・キングスパーク・モスマンパークエリア・パース市内散策）
パース市内ホテル宿泊

【3日目　1月10日(月)】
ホームステイオリエンテーション
（グローブコミュニティセンター）
ホストファミリーと対面・交流・宿泊
（１人1世帯のホームステイ開始）

【4日目　1月11日(火)】
英語レッスン（体調や感情の表現など）
学童保育所にて子どもたちと交流（折り紙づくり・習字・けん玉・紙風船などで交流）

【5日目　1月12日(水)】
英語レッスン（会話でよく使われる英語）
西オーストラリア州美術館でアートワークショップに参加（ホームステイ先の子どもたちとペインティングアート制作）

【6日目　1月13日(木)】
英語レッスン（オーストラリア略語・俗語）
キングスパーク内でホームステイ先の子どもたちとバーベキューランチ
シナジー・パークランド散策（オーストラリアの歴史を学ぶ教育プログラム）

【7日目　1月14日(金)】
ホストファミリーとお別れ
パース市内視察（ヒラリーズボートハーバー・パース造幣局）
パース国際空港から成田国際空港へ

【8日目　1月15日(土)】
成田国際空港→羽田空港→新千歳空港
解散式（総合福祉センター「しゃるる」）

元気が一番！

【問い合わせ】
町地域医療・保健対策室
☎㉝2256

予防接種はお済みですか？

町では、子どもの健康を守るために予防接種を行っています。

左記の対象年齢に該当するお子さんは、無料で接種できますので、まだお済みでない場合は、お早めに受けられることをおすすめします。母子手帳を忘れずに持参してください。

■麻しん・風しん混合ワクチン（MR）
第1期対象　満1歳～2歳未満
第2期対象　4月に小学校に入学
第3期対象　中学1年生相当
第4期対象　高校3年生相当

■二種混合ワクチン
対象者　小学校6年生

◆接種希望日の前日の午後1時までに地域医療・保健対策室に予約してください。（土・日・祝祭日は除く）

～子ども予防接種週間～

3月1日㈫から3月7日㈪は「子ども予防接種週間」です。4月からの入園・入学に備えて、必要な予防接種を済ませ、病気を未然に防ぎましょう。

「にしみこどもクリニック」では、平日に予防接種を受けにくい方のために、3月6日㈰午前9時から正午まで、臨時の予防接種を実施します。

希望される方は、3月4日㈮午後1時までに地域医療・保健対策室に予約してください。（完全予約制）

※当日は、予約していただいた方のみの受付となります。一般の診療は行なっておりません。

【申し込み・問い合わせ】
町地域医療・保健対策室
☎㉝2256

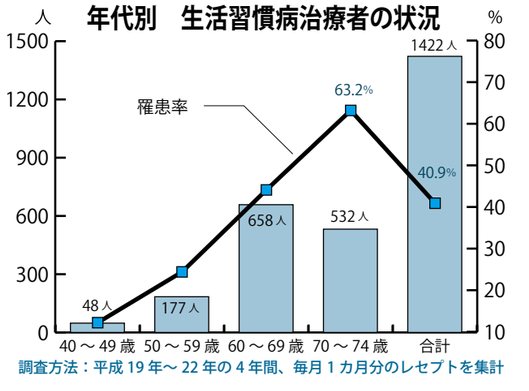
栗山町の生活習慣病治療状況

栗山町国保被保険者（40歳～74歳まで）における生活習慣病の治療状況について調査した結果、被保険者約3500人のうち、生活習慣病の治療をしている方は約1430人で、40・9％でした。

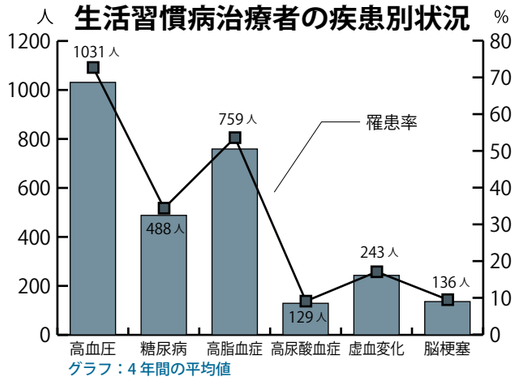
年齢別でみてみると、60歳代から罹患人数が増え、70歳代になると約63・2％の方が生活習慣病で治療をしています。つまり3人に2人が治療をしています。その疾患で、1番多いのは高血圧症、次いで高脂血症です。生活習慣病の合併症といわれる心疾患（例：虚血性心疾患）や脳梗塞の治療者はあまり多くありませんでした。

また、「50歳代後半から60歳代の時期に、高血圧症または高脂血症から治療が開始されている」という傾向が読み取れます。

生活習慣病は生活習慣の積み重ねで発症する…まさしく、50歳頃までの生活習慣の結果として、生活習慣病が発症していると考えます。「まだ若いから…」とか、「健診結果がちょっと高めでも自覚症状がないから…」とは考えずに、毎年、特定健診を受けて、その健診結果から日頃の生活習慣との関係を把握していきましょう。



調査方法：平成19年～22年の4年間、毎月1カ月分のレセプトを集計



グラフ：4年間の平均値

健康のコラム

永山歯科医院　院長　永山（ながやま）　裕（ゆたか）

歯科の救急医療

こんにちは。今回は地域の歯科救急医療についてお話したいと思います。救急、救急医療って何？辞典やインターネットなどで調べると

救急とは・・、
急な場合を救うこと。急な場合の手当て。

救急医療とは・・、
疾患や外傷、中毒などに対して緊急の診断、治療
などと書かれています。
またよく見聞きする一時救急、二次救急、三次救急という言葉ですが、

・一次救急
入院治療の必要がなく外来で対処しうる帰宅可能な患者への対応

・二次救急
入院治療を必要とする重症患者に対応

・三次救急
二次救急医療では対応できない複数診療科にわたる高度な処置が必要、または重篤な患者への対応

これを知っていれば新聞やテレビなどの報道や、ドクターヘリがでてくる救急医療をテーマにしたテレビドラマなどが、よりわかりやすくなります。

栗山町の歯科救急体制

さて、栗山町の歯科に関する救急体制を紹介します。

一次（初期）救急

町内には7つの歯科医院があり、日曜日から土曜日までどこかの医院が診療しています。（24時間ではありません）

ゴールデンウイーク、年末年始は岩見沢歯科医師会の会員が当番で診療しています。（新聞、岩見沢歯科医師会のホームページなどで確認ください）

二次救急・三次救急

岩見沢市の北海道中央労災病院
歯科口腔外科が1年365日体制で担当しています。

栗山町は一次救急対応医療機関が7か所あり、空知管内では唯一の歯科口腔外科医療二次三次医療機関である北海道中央労災病院が隣町の岩見沢市にあるなど、全道的にも歯科救急に関して充実している地域といえるでしょう。

救急医療の種類と体制

種類	説明	栗山町の体制
一次救急	入院治療の必要がなく外来で対処しうる帰宅可能な患者への対応	町内の7か所の歯科医院で対応。日曜日から土曜日まで、いずれかの歯科医院が診療
二次救急	入院治療を必要とする重症患者に対応	岩見沢市の北海道中央労災病院　歯科口腔外科が365日体制で対応。
三次救急	二次救急医療では対応できない複数診療科にわたる高度な処置が必要、または重篤な患者への対応	

診療科目
歯科・小児歯科・矯正歯科

診療時間
月・水・金　9：00～18：20
火・木　9：00～17：40
昼休みはありません。
土曜は不定休※お問い合せください。
日曜・祝日はお休み。
所在地：松風4丁目23
☎㉒7000

■■■院長プロフィール■■■
永山　裕 院長
出　身：札幌市出身
　昭和35年生まれ
出身校：東日本学園大学歯学部
家　族：妻、長男、次男
趣　味：スポーツ観戦、船釣り
栗山について一言：
東京、大阪の知人にスキー場やゴルフ場はすぐそこ、夏になると自宅にいてもカエルの鳴き声が聞こえるまちと自慢しています。

※栗山町地域医療協議会のご協力により、町内で開業している医師・歯科医師・薬剤師さんによる「リレー方式」で連載しています。